



どこもかしこも『目には青葉』、束の間コロナを忘れ、マスクをはずして深呼吸したくなります。

行き当たりばったりの政策に振り回される自粛生活も1年と2か月、辛抱の甲斐もなくどんどん悪化していく事態に、皆が疲弊しきっている中、宝島社が11日の大手新聞三紙に掲載した企業広告が、話題を呼んでいます。今年の1月に掲載された「言われなくても、やってます。」に続く、コロナ下第2弾の広告は、「このままじゃ、政治に殺される。」という強烈なキャッチコピー。その背景には、戦時下の少女たちが真剣な眼差しで訓練をする写真が使われています。

先日の放課後、小学校の校庭では、学童保育の子どもたちが精一杯遊んでいました。平和な、心もむ光景ですが、変異株の若年層も含めた感染率の高さを考えると、胸がざわついてしまいます。でも、子どもたちは、授業中も休み時間も給食中も、もうずっと頑張っています。この短くて大切な『子どもの時間』を、「ちゃんとマスクをしなさい」「離れて遊びなさい」と制することしかできないのでしょうか。

川口ぞうれっしゃは、『いのちと平和と子どもたち』の大切さを歌い続けてきました。全力で子どもの時を生きることは、子どもの本分であり、その健やかな心と身体を守るためにも、われわれ大人が知恵を絞り、鬱を振り払っていかねば。どうか1日も早く、大人も子どもも、マスク無しで思いっきり笑い合い、そして歌える日が来ますように！

今回のメッセージは、パワフルで温かい歌声、笑顔がチャーミングなオペラシアターこんにゃく座の岡原真弓さんです。

かわぐち  
川口ぞうれっしゃがっしょうだんのみなさん！お元気ですか？  
ねん がついたち  
2018年7月1日のぞうれっしゃコンサートで、うた  
歌わせてもらった、  
こんにゃくざの おかちゃんです！

あれから3年たちましたね。いま、せかい  
世界がコロナでこんなことになる  
なんて信じられないです。とくに、おお こそ  
大きな声で歌うことがいけない！  
といわれるなんて！

わたしは、オペラをしごとにしています。大きな声で歌うのがしごと  
です。こりゃあ、たいへんだ！

でもね、いっしょうけんめい手をあらったり、けいこ場をそうじしたり、  
マスクをしながらいこをししたりして、オペラをやっています。

そして、みにきてくださるおきゃくさまもいます。みんな、やっぱり、なまのぶたいはいいねえ！と  
言ってくれます。



オペラ『未摘花』より 写真：前澤 秀登（右側が岡ちゃん）

そうなんです！歌をうたう♪ということは、  
歌っている人も、聞いてる人も、しあわせになる  
ものなんです。

みなさんも、いつか、あつまるときのために、  
おうちでマスクして歌ってください。

そして、またかならず、ぞうれっしゃをみんなで  
歌ってください！

おかはら まゆみ  
岡原 真弓